

平成 26 年度太白図書館利用者懇談会実施報告

1. 日 時 平成 27 年 2 月 19 日(木) 13 時 30 分～15 時

2. 会 場 太白図書館 地下 1 階 視聴覚室

3. 参加者 太白図書館利用者等 8 名

利用者及び配架ボランティア 3 名

おはなし会・対面朗読ボランティア 3 名

地域文庫 1 名、小学校 1 名

太白図書館職員 5 名

4. 配布資料 「仙台市図書館要覧 平成 26 年度」ほか

5. 内 容

館長挨拶

出席者自己紹介

太白図書館事業概要等説明（館長）

懇 談

6. 意見・要望

(1) 利用者及び配架ボランティア

- ・蔵書数については、仙台市の図書館全体から取り寄せることができるし、相互貸借も利用できるので、蔵書数が少ないという不満はない。
- ・予約・相談窓口では、広く情報が得られて便利である。
- ・地下 1 階のポスター掲示版のところに貼るポスターについて、美術館のものなどもっと図書館と関係あるものを貼った方が良いのではないかと。
- ・自転車置き場がわかりにくいので案内をもっとしてほしい。駐輪場を屋根付きにしてもらえればさらにありがたい。
- ・DVDなどの視聴覚資料の充実をお願いしたい。
- ・OPACでプリントアウトして本を探している利用者から資料の場所を聞かれることが多い。
- ・インターネットで予約ができて便利であり、活用している。
- ・ボランティアが、本の場所など定型的なものではなく、今日こんなことを聞かれたというものをノートにでも残すようにすると参考になって良いと思う。
- ・ブックトークについて、4 年生に限らずいろいろな学年、また中学生にもやってもらえれば良いと思う。
- ・図書館の中に地域の人を巻き込み、年齢を超えて本を持ち寄って情報交換する時間、場所を図書館に提供してもらったら良いのではないかと。
- ・視聴覚資料、障害者サービスも充実していると思う。いろいろなサービスがあることを利用者に周知していくことが課題と感じる。

- ・図書館資料を使わず、自習だけで閲覧席を使うのはどうかと思う。学生が占拠している状況があるが、辞典など重い資料を閲覧するとき、それを広げるための近くの閲覧席は空いているのが普通ではないか。学生の使用は控えてほしいと思う。

(図書館から)

- ・予約・相談窓口については、今後もPRしていきたい。
- ・ご指摘の掲示板は、文化センター所管のものであり、文化センター関連のものを貼っている。なお、市内にある博物館や美術館などのちらしについては、専門のラックを用意して入れている。図書館内等への美術館ポスターの掲示については、市事業を優先としており難しいが、スペース的に余裕があれば考えたい。
- ・自転車置き場をわかりやすくというのはもっともなご意見であるが、場所が駅のそばということもあり、通勤、通学といったことで駐輪場に停めてしまう場合もあり、悩ましいところだ。
- ・ボランティアの方に気づいたことを書き残してもらうことについては検討したい。また、ボランティアの方には、今後、館内OPACの見方を事前に説明するなど必要に応じて適切に対応したい。なお、OPACの見方は貼っているが、さらに改善が必要か確認する。
- ・ブックトークについて、小学校4年生についてはすべて行っている。中学校は希望のあるところに行っており、今年度は4校で実施している。小学校の4年生以外の学年にも実施してほしいということについては、ブックトーク終了後のアンケートでもいただく要望であるが、マンパワー的に難しい。依頼があればボランティアの方に対応してもらっている。また、館内行事の一つとしても小学校3～6年生を対象としたブックトークを行っている。
- ・図書館資料の充実については、今後も努力していきたい。また、図書館の事業については、いろいろと検討してみたい。
- ・閲覧席の利用については、仙台市の図書館としては、基本的には図書館資料を使って調べものをする方を優先しているが、生涯学習の機会を提供する施設として、スペースに余裕があれば、使用目的を問わない席も設けることとしている。

(2) おはなし会・対面朗読ボランティア

- ・新聞を読む台があるのが良く、他の図書館にもあればと思う。閲覧席も拡張してもらってよかったと思う。
- ・他の図書館のことだが、人気のある文庫本は書架の上の見やすいところに置いているところが良いと思う。また、閲覧席を増やしている館もあり、文庫本、ハードカバーの本を著者別にいっしょにするなどの工夫が見られる館もある。
- ・1曲で1冊となっている楽譜を置いてもらうことはできないか。
- ・文庫本で例えばシリーズ20冊のうち5冊程度を所蔵しているような例も見られる

が、仙台市図書館相互で融通する形としているのか。

(図書館から)

- ・楽譜については著作権の関係で難しい。
- ・文庫本のことについて、人気のあるものについてはシリーズの本を全部買っているが、当館は、開館後 15 年ということで古い本までは揃えられていなく、現在買っているものもある。
- ・対面朗読サービスについて、利用者増に向けた課題として何が考えられるか。

(対面朗読ボランティア)

- ・外に出ることが不安と考える人もあり、ガイドヘルパーの手助けなどが必要ではないか。

(3) 地域文庫

- ・貸出冊数の上限について問題がなければ増やすことも検討してもいいのではないかな。
- ・レファレンスは利用されないのはもったいないと思う。
- ・学校図書にも関係しているが、コーナーを設けたりすると貸出につながるので、学校でも図書館の展示を参考にしている。
- ・「ラッキーブックをさがそう！」という事業内容はどのようなものか。

(図書館から)

- ・貸出冊数を増やすと返された本を配架する作業など附随する作業も多く、マンパワー的に難しい部分はあるかと思う。
- ・展示については、学校で参考にしているとの話をもらい、区内の小学校には何枚か写真を送っている。
- ・「ラッキーブックをさがそう！」の事業は、本のジャンルが記載されたしおりを箱の中から取ってもらい、そのジャンルの本を借りてもらったら、しおりにシールを貼るというもので、子どもたちにいろいろなジャンルの本を借りてもらうような仕掛けになっている。

(4) 小学校

- ・地下鉄駅に図書館でのイベントなどを紹介するコーナーを設けるべきと思う。
図書館をPRするものとして、他都市ではバス停に小学生が書いたものがあったりして良いと思う。
- ・来年教科書が変わることから、レファレンスサービスで教科書に出てくる作者の関連本についての問い合わせが多くなると思う。教員が自分の図書館で調べるのには限界があり、目録などを調べてほしいとの話が来ると思うのでよろしくお願

いしたい。

- ・朝読書用の本や授業をするときに並行読書ということで、関連本 100 冊ぐらいをすぐに貸してもらえるのはありがたい。
- ・触る絵本など障害児用のなかなかない本も借りることができるのは仙台市の図書館の強みと思うので続けてもらいたい。
- ・生徒にもっと本を読んでもらうため、学校が図書館と連携して取り組むことも多くなると思う。
- ・太白図書館は児童を対象とした事業が多いが、これからは年代が上の方たちが楽しめるような企画もしてもらえればと思う。

(図書館から)

- ・地下鉄については、目につく場所は有料であり、額もかなりの金額となり難しいが、多くの人に参加してもらえるように P R を考えたい。
- ・平成 23 年度から始めた特別支援学校・学級用の学校貸出は、平成 25 年度に初めて 2 校利用があったが、平成 26 年度は 11 月末までで既に 26 校の利用がある。増えた理由をどのようにお考えか。

(小学校)

- ・ロコミでの利用が広がっているのだと思う。図書館部会の先生が特別支援学級の授業を見たが、本を使っの授業で字が読めなくても本を楽しむことができるということで、これから利用がもっと増えると思う。